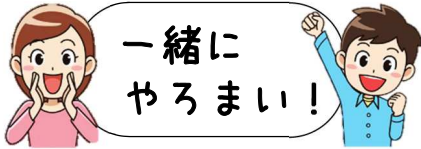




# ガーデン通信

発行：スクエアガーデン地域包括支援センター  
所在地：岡崎市羽根町中田34  
TEL：57-1133 FAX：57-0133  
URL：taihoukai.or.jp/houkatsu/  
Mail：sg-houkatsu@taihoukai.or.jp



## 「いたわり愛のまちづくり」

～私たちのまちの認知症サポーター～

子どもから高齢者まで、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「地域のみなが安心して暮らせる羽根・城南学区！」をめざして活躍する”認知症サポーター”をレポートしました。

### 城南学区 「知識」を活かし活躍



－生活の中で心掛けていることはありますか？

**畔柳さん**：仕事で色々な方とお話する機会があります。「病気（認知症）から起こる症状」と理解し、優しく接することを心掛けています。また、町内で高齢者が集まっているところをお見掛けしたら”お変わりないかな？”と少し距離を持ち見守っています。

－介護の経験から、皆さんにメッセージをお願いします！

**伊藤さん**：パーキンソン症状があったレビー小体型認知症の義母、1人歩きが大変だったアルツハイマー型認知症の父の介護を経験しました。病気により症状が異なるため「学ぶ機会」、「知る機会」を持つことが大切だと思います。何か特別なことはしていませんが、犬の散歩のとき等に地域のことを気に掛けています。



城南学区女性の会「城南っぶ」会員  
左：畔柳 小百合さん、右：伊藤 理子さん  
お2人共地域の「見守り活動」が生活の一部です！



### 羽根学区 キッズサポーターの活躍



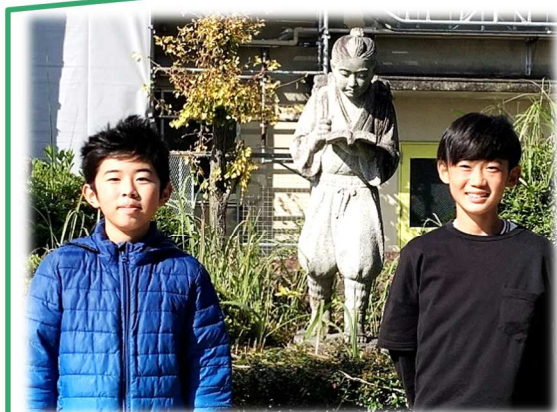
－認知症の方と話したり、接するときに気を付けていることを教えてください。

**太田くん**：忘れっぽいおじいちゃんと話するとき、一緒に写真を見て覚えているか確認して話をします。覚えていないことを聞かれても困っちゃうでしょ?! 優しく声を掛けて安心してもらいたいです。

－キッズサポーターとして、これからやりたいことは？

**永井くん**：1年生の子と接するときに、認知症サポーター養成講座で学んだこと※が役立ちました。人と接する基本は同じだと思います。コロナ禍で機会は少ないかもしれませんが、学んだことを活かし手本になって守ってあげたいです。

※認知症の人と接する基本：3つの「ない」(驚かせない、急がせない、傷つけない)



羽根小学校6年2組

左：太田 万尋くん、右：永井 琉惺くん  
緊張しながらも、元気にハキハキとお話してくれる頼もしい存在です。



何気ない毎日を過ごす中で、「相手の立場に立って」考えて行動する。「思いやり」があふれる応援者でした。

岡崎市で活躍する”認知症サポーター”は32,002名(R2.12.31現在)。コロナ禍で認知症サポーター養成講座も、リモートで受講できるようになりました。人と人とのコミュニケーションの方法が変化する中でも「いたわり愛」の輪が広がっています！

今だからこそ、ひとりでも多くの方と「いたわり愛の輪、一緒に広げていきたい輪」。





## ケアマネ交流会を開催しました

### ～ケアマネと民生委員の繋がり～

令和2年11月25日、岡崎支所圏域にある事業所の介護支援専門員（以下ケアマネ）と民生委員の交流会を、イズモホール岡崎・貴賓館にてコロナ対策を徹底して行いました。お互いの業務・活動についての理解を深め、現状の課題などについて守秘義務を守ったうえで話し合いました。

初参加のケアマネから「民生委員の存在は知っていても、活動についてはよく知りませんでした。今回、役割も分かったので、今後は連携して支援にあたりたいです。」という感想がありました。また、「生活全般に関する相談ができてありがたいです。打ち合わせの際、ぜひ民生委員さんに参加してもらいたいと思います。」といった声が聞かれました。

民生委員からは「ケアマネさんは介護保険制度の使い方を紹介してくれるので、とても頼り

ケアマネ交流会：地域包括支援センターが主催となり、ケアマネ同士の顔の見える関係づくりをし、学び合う中で高齢者支援のスキルアップを図るための会。

になる存在。一人暮らしの高齢者等を地域で見守る中で、これからも協力しながら活動ができたと思う良い機会となりました。」という感想をいただきました。

高齢になっても「自分らしく生活する」。これをサポートする支援チームの輪が広がる会になりました。



学区に分かれて話し合いをするケアマネと民生委員。日頃の活動についての話題は尽きません。



## コロナ禍でも楽しく運動！ 「健幸すごろく de ウォーキング」

令和2年11月21日から2週間、地域の皆さんにご協力いただき「健幸すごろく de ウォーキング」を開催し、3歳から86歳の延べ126人がゴールしました。

2日間かけてゴールした柴田さん親子。「常は車だけど足が弱ってしまうから歩きました。少し遠くに行くと新たな発見もありましたよ」「近道を考えて歩くから、頭も使っていることですね」とお話ししてくださいました。参加者の中には、4回チャレンジした方もいらっしゃいました。

「また参加したい」という声も多く、次回開催に向け企画中です！コロナや寒さに負けず、健康づくりを続けましょう！



親子で仲良くゴール♪柴田さん親子です(^^)/

### 「健幸すごろく de ウォーキング」とは

学区に掲示板（すごろくカード、サイコロの目）を設置。掲示板を回り、サイコロの目の数だけマスを進めゴールします。



## 「ケアマネ（介護支援専門員）さんは、介護の強い味方！」

ねえ、スクエアちゃん。おばあちゃんの家にはケアマネさんが定期的に来るけど、どんなことをする人なの？

ケアマネさんは、介護が必要な人の相談にのってくれるの！生活や身体に合わせて、おばあちゃんらしい生活が送れるように計画（ケアプラン）を作って、介護サービス等の調整をしてくれるのよ。

そのために定期的に様子を見に来てくれるの。専門的な知識や技術を持っているから安心ね！

なるほど！介護のスペシャリストだ！ケアマネさんがいるから、おばあちゃん安心だね♪

編集後記 庭のつぶやき

コロナ禍により、友人との会食が激減した昨今。

高校時代の友人と卒業アルバム片手に“リモート同窓会”で「再会」！寄せ書きページを見ていたら『やっぱ手書きはいいねえ』との話題となり文通を「再開」することに♪新しい生活様式の中で生まれた「再会と再開」に心温まりました(\*^\_^\*)